

駅からさんぽ

寺町通りから権現道～行徳街道～内匠堀

行徳は戸数千軒、寺百軒 —寺と神輿の町を歩く

その3
妙典駅
3.5km/
60分

- ▶ 1 徳願寺 350m・8分
- ▶ 2 法善寺 400m・4分
- ▶ 3 妙覚寺 500m・8分
- ▶ 4 笹屋うどん 600m・10分
- ▶ 5 市川市行徳ふれあい伝承館 200m・4分
- ▶ 6 権現道 200m・4分
- ▶ 7 内匠堀 200m・4分
- ▶ 8 田中邸 200m・4分
- ▶ 9 押切稲荷神社 200m・4分
- ▶ 10 常夜灯 200m・4分
- ▶ 11 市川市行徳ふれあい伝承館 200m・4分
- ▶ 12 押切稲荷神社 200m・4分

▶ 13 常夜灯 200m・4分

▶ 14 市川市行徳ふれあい伝承館 200m・4分

▶ 15 押切稲荷神社 200m・4分


▶ 16 常夜灯 200m・4分

▶ 17 市川市行徳ふれあい伝承館 200m・4分

▶ 18 押切稲荷神社 200m・4分

かつて成田山参詣に利用された成田街道の中でも、江戸川を渡る船旅が楽しめる人気を集めた行徳ルート。その出発地、江戸川のほとりに建つ常夜灯周辺は寺町として栄え、今も多くの寺社が小路でつながっている。行徳には、貴重な文化財や史跡、歴史を感じられるお寺がそこかしこにある。文化や歴史に思いをはせながら、いつもとは違ったお散歩を楽しもう。

常夜灯
航路の安全祈願のために建てられた常夜灯。その風情ある佇まいは行徳のシンボリック的存在



▲常夜灯前の芝生の土手で川風を感じよう

寺町通り

その名の通り、寺町通り周辺には多くの寺社が点在。無電柱化されている。



「三十三カ所観音霊場」の札所一番

1 徳願寺

仁王像の脱む山門(市指定有形文化財)、本堂、書院、庫裡、経蔵などどれも見事な建造物。
▶ 詳細はP15へ



◀ 本堂入口の上にある龍の彫刻は、行徳で神輿製作をしていた後藤直光、浅子周慶ら4人の合作

製塩方法を教えた寺

2 法善寺

塩場寺(しょばでら)とも呼ばれる。行徳に住む俳人たちが芭蕉の百回忌に建てた句碑「うたがふな潮の華も浦の春」がある。

☎047-357-2943
Pあり 函本塩1-25
MAP P.9 B-4

▶ 「塩塚」とも呼ばれる句碑



権現道

権現とは徳川家康のことで、鷹狩りに行く際に通つたとされる。わずか1間(1.8m)あまりの狭い道。

▶ 現在は白い平板の敷石が敷かれ分りやすい道に



内匠堀

鎌ヶ谷の雑水(はやしみず)を水源に、浦安市当代島まで引かれた灌漑用水路。これにより市川と浦安の農業が発展した。

▶ 今は暗渠化され、歩道に



房総にただ一基の珍しい キリシタン灯籠

3 妙覚寺

境内にあるキリシタン灯籠は、上部は純和風、中央下部には舟形のくぼみがあり、中には靴を履いた神父像が彫られている(靴部分は地中)。

☎047-357-3344 Pあり
函市川市本行徳15-20
MAP P.9 B-4



江戸時代の大繁盛店

4 笹屋うどん跡

船で来ても陸路で来ても立ち寄らない人はなかったという「笹屋うどん」。1854年に建てられたという建物が今も残る。現在は屋内の見学不可。

☎なし 函市川市本行徳36
MAP P.9 A-4



▲当時の看板は歴史博物館に展示されている

神輿や祭り、行徳の歴史や文化を紹介

5 市川市行徳ふれあい伝承館

室町時代末期創業、500年もの間神輿製作をしていた浅子神輿店。浅子周慶作の神輿やその貴重な資料を公開、行徳にゆかりのある資料も展示している。

☎047-314-8177 函10:00~17:00 無料 函月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始 函市川市本行徳35-7
MAP P.9 A-4



▲向かいにある休憩所

▼建物は国の有形文化財に登録



ザ！神輿の町

行徳街道(旧道)沿いは神社も多く、ほとんど町ごとに祭りが行われる。ほぼ毎秋、どこかで神輿が練り歩く様子が見られる。



ココも行ってこ!

行徳神輿ミュージアム

神輿の製作工程、パーツ、道具のほか、普段は見ることのできない内部などを展示。迫力ある神輿や、繊細な彫刻や漆塗りなどの職人技を間近で見られる。

☎047-357-2061 函9:00~17:00 函日曜・祝日 函市川市本塩21-3
MAP P.9 A-4



田中邸

370年前から続く旧家。明治初年、元行徳町長 田中稔さんの父によって建てられた。

函市川市本行徳26-8 MAP P.9 A-4



押切稲荷神社

富士信仰により造られた「富士塚」がある(写真)。見事なイチョウも。

函市川市押切6 MAP P.9 A-4

